触れ合う時間まで、あともう少しの距離…

コ哀ラブ優輝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
触れ合う時間まで、あともう少しの距離…

【Ｎコード】
Ｎ５７４４Ｃ

【作者名】
コ哀ラブ優輝

【あらすじ】
私は、灰原哀…。そして、なぜか私の横にいて楽しげにクラスメートと話しているのは、江戸川コナン…。でも、私たちこれは仮の姿だったけれど…組織がすべて崩壊したときに、宮野志保と工藤新一の二人は、いなくなった…。これが正解だったのかも知れないけれど…。別に、私たちは付き合っているわけでもない。ただ、家がとなり同士で…幼馴染みみたいな関係だから…。彼が、誰を好きになって、付き合っていようが私には関係ないことだと思っていたあの日に…。私は、妙なドキドキ感を覚えてしまったのかも知れない。

触れ合う時間まで、あともう少しの距離…（前書き）

これは、中学生の少年探偵団とコ哀が中心の話です。決して、新蘭のファンの人には…おススメ出来ません！

触れ合う時間まで、あともう少しの距離…

私は、灰原哀…。そして、なぜか私の横にいて楽しげにクラスメートと話しているのは、江戸川コナン…。でも、私たちこれは仮の姿だったけれど…組織がすべて崩壊したときに、宮野志保と工藤新一の二人は、いなくなった…。これが正解だったのかも知れないけれど　…。　別に、私たちは付き合っているわけでもない。ただ、家がとなり同士で…幼馴染みみたいな関係だから…。彼が、誰を好きになって、付き合っていようが私には関係ないことだと思っていたあの日に…。私は、妙なドキドキ感を覚えてしまったのかも知れない。「灰原、今日部活ないから…一緒に帰ろうぜ！」と、彼は私のことを誘いなぜか彼の笑顔がいつも見せている笑顔と違って見えた。『あら、それって…私のことを誘っているの？でも…あなたの誘いだったら私以外の女の子でも誘ってあげればいいじゃない？あなたと一緒に帰ってみたいと思う女の子はいっぱいいるはずよ！どうしてもって言うなら…一緒に帰ってあげるわ！！』と、私は彼の誘いを受けた。そう、久しぶりの誘いで嬉しかったから…　。でも、心配なことは１つだけある。彼のファンの女の子たちに、憎まれるじゃないかという不安である。そして、休み時間『哀ちゃんは、コナンくんに告白しないの？歩美は、コナンくんのことが大好きだよ！でも…哀ちゃんも大好きだから　…。』と、そういつも私が悩んでいると心配をしてくれる小学校時代からの親友の歩美が私に話しかけてくれる。『どうして？私が…江戸川くんに告白しないといけないのよ！歩美ちゃんは、江戸川くんのことが好きなんでしょ？あなたの方こそが告白したら彼も喜ぶわ！私は、黒い血が流れているから…。彼のことを幸せなんて出来ないかも知れないわ。』と、そう私には黒く冷たい血が流れているのはホント…。だけども、幸せになれたらいいなと思うけれども…こんな私でも幸せになれるのかなと、時々だけど考えてしまう。だから、彼女だけには不幸であっ

て欲しくないから…。『実のことを言うとね、歩美。哀ちゃんがまだ転校してくる前の小学校一年生の時に、コナンくんに告白したことがあるんだ。でも、振られちゃった…。歩美じゃ、コナンくんのそばにいられなかったのかも知れないから…。だから、哀ちゃんのことを応援することに決めたんだ！だから、唯一歩美が出来ることはそれぐらいしかないからね…。それに、哀ちゃんは黒い血なんて流れていないもん！だって優しい子だから哀ちゃんは、黒い血なんて流れていない…。』と、そう彼女はそっと私だけに教えてくれた…。私が江戸川くんとの恋人関係になれることを応援までしてくれていることや過去の彼への告白話をしてくれた。そして、私には黒い血が流れていないとも言ってくれたのだった。『ありがと、歩美ちゃん…。私、勇気を出して江戸川くんに告白してみるわ！だって、私にも幸せになる権利ぐらいはあるはずだから…。そんな権利はないと言われたって神様には権利があると言われたのよ！と、言ってあげるわ。』と、そう哀は自分自身を強く見せるのだった。そして、帰り道「灰原…今、気になっている奴が出来たか？オレは、出来たけれどな／／／」と、そっと彼の顔が赤らめて見とれてしまった。そう、彼が今…気になっている子が羨ましいほどで切なくてたまらない。どうして、いいかなんて今すぐに分からなかった。『ふ～ん、そんなに気になる子が出来たの？蘭さん以外の女の子に、気になるなんて珍しいわ。もしかして、相手は…歩美ちゃん？』と、なんて彼の過去に愛した人蘭さんの名前を出してしまったのかと自分でも分からない。そう、もう過去のことだから…。「違うぜ！オレが今気になっている奴は…いつも意地っ張りで、どこか哀しい過去を今でも忘れることが出来ない…。そして、いつもオレのことを気にしている奴の情報だ！！／／／」と、コナンそう哀のことを見つめながら顔が赤らめていたのであった。そう、コナンが今気になっている人とは…哀のことである。『意外ね…あなたの周りにもそんな人がいるなんて、今までに聞いたことなんてあったかしら？でも…私は、あなたに出逢えて良かった！上手く言えないけれどね…。』と、

そう彼女の横顔が一瞬暗く見えたけれども…彼女の優しさの一言で全てが変わっていた。オレの中で、彼女の存在が大きくなっていたことに気が付いた時には…遅かったかも知れなかった。「言ってやるよ！オレの好きな奴は…オメーエのことが好きなんだよ！！いつの間にか…灰原の存在がオレの中で、大きくなっていたんだよ。いつも気になってしょうがなかった…。そして、いつかオレのものにしたいと思った。答えてくれ、灰原の気持ちをオレに…。」と、そうコナンはなんと哀にそう言ってしまうのだった。でも、コナンは後悔をしているように見えなかった…。きっと、彼女を幸せに出来る自信があったのかも知れない。『嘘よ、私なんか好きになるなんておかしいわ…。でも、私もずっとあなたのことが好きだった。だから、お願いします！』と、にこっと哀は笑顔を見せてコナンにそう伝える。そして、哀とコナンの二人は幼馴染みの関係から普通の恋人関係になったのだった。その二人のことを優しく見守っている三人の影の存在があった。『哀ちゃんとコナンくん、すっごく幸せそうだよね！何だかすごく羨ましいな…。でも、やっと哀ちゃんは幸せを手に入れたんだ！哀ちゃん、コナンくんと幸せにね。』と、そう歩美は哀とコナンの二人の姿を見て安心をしている歩美であった。「しかしコナンくんも、大分時間がかかりましたけれども…灰原さんのあんな優しく微笑む笑顔を見たのは、久しぶりです！きっと、僕たちには知らない時間が二人には流れているのではないでしょうか？」と、そう光彦も何だか安心してそう哀とコナンの二人を優しく見守っているのである。「きっと…灰原とコナンの奴は、幸せになってくれるとも思うぜ！だって、オレたちの仲間なんだからよ！」と、そう元太はたまにまとものことを言うのだった。そしているうちに、コナンと哀の二人は…いつの間にか手を繋いで帰っている姿が小さくなっているのだった。何故か二人は、公園の中へと入って行く。「灰原、キスしてもいいか？」と、コナンはそう哀にキスをしてもいいかと聞く。『別に構わないけれども…私たちよりも、小さな子供たちが見ているわ。』と、そう哀はコナンに言うの

だった。また場所が移って阿笠邸にて…『ねぇ、江戸川くん。キスしてもいいわよ！さっきは、公園で出来なかったけれどもここなら安心して出来るはずだから…。』と、そう哀からコナンへ誘うのだった。しかも、キスをしていいと言うのである。「灰原、じゃあ目をつぶってくれ！ホントに、キスをするぜ！」と、コナンはそう哀に言い…キスをしようとするのだった。そして、コナンは哀に優しくキスをする。『甘くて幸せな時間だったわ…ありがとうこれからもよろしくね、名探偵さん♪』と、哀はそうコナンとキスをして、幸せな時間と言ってくれたのだった。「ああ…よろしくな、灰原。」と、そうコナンは哀に言うのである。そして、コナンと哀の二人はずっと幸せでたまらなかった。博士が帰ってくるまでの時間は、ずっと甘い時間が流れていたとか…。きっとコナンと哀の二人は、幸せな時間だったのかも知れない。

触れ合う時間まで、あともう少しの距離…（後書き）

読んでみての感想は、どうでしたか？よければ…感想をください。
お待ちしています！！これからも、コ哀中心に書いていくのでよろしくお願いします。
触れ合う時間まで、あともう少しの距離…それからへと続きます。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n5744c/

触れ合う時間まで、あともう少しの距離…

2011年1月23日00時39分発行